



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月4日

上場会社名 株式会社 松風

上場取引所 東

コード番号 7979 URL <https://www.shofu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高見 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 森本 隆

TEL 075-561-1112

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,097	16.2	1,229	32.4	1,627	61.8	1,144	81.5
2022年3月期第1四半期	6,970	42.9	929	620.9	1,006		630	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,744百万円 (127.7%) 2022年3月期第1四半期 765百万円 (804.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	64.35	64.25
2022年3月期第1四半期	35.52	35.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	42,065	34,204	80.9	1,912.28
2022年3月期	40,709	32,940	80.5	1,841.55

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 34,047百万円 2022年3月期 32,759百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		13.00		26.00	39.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		15.00		24.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年3月期期末配当金の内訳 創立100周年記念配当 2円00銭

2023年3月期(予想) 期末配当金の内訳 創立100周年記念配当 2円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,523	11.9	1,810	9.5	2,138	0.4	1,487	1.3	83.57
通期	31,158	10.7	3,308	2.8	3,695	1.0	2,719	6.8	152.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	17,894,089 株	2022年3月期	17,894,089 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	89,213 株	2022年3月期	105,013 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	17,793,026 株	2022年3月期1Q	17,761,447 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年8月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後のさまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症との共生が進む各国の経済政策などにより景気の回復がみられるものの、ロシア・ウクライナ問題の長期化による資源価格の高騰や世界的なインフレの加速が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。国内経済についても、社会経済活動の正常化が進み景気回復の兆しがみられましたが、国際情勢の悪化や急激な円安の進行など、先行きの不透明感を払拭できない状況が続きました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、国内、海外ともに好調に推移し、8,097百万円と前年同期比1,126百万円(16.2%)の増収となりました。売上高に含まれる海外売上高は、4,465百万円(対売上高55.1%)と前年同期比786百万円(21.4%)の増収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果により1,229百万円と前年同期比300百万円(32.4%)の増益となりました。

経常利益は、為替差益の計上等により増益幅が拡大し、1,627百万円と前年同期比621百万円(61.8%)の増益となりました。

特別利益として投資有価証券売却益38百万円を計上した結果、税金費用を差し引いた親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,144百万円と前年同期比514百万円(81.5%)の増益となりました。

(デンタル関連事業)

国内では、デジタル口腔撮影装置「アイスペシャル C-IV」や、歯科切削加工用セラミックス「松風ディスク ZR ルーセント」などのCAD/CAM関連製品が売上に寄与し、前年同期比増収となりました。海外では、北米や中国を含むアジア地域を中心に既存製品の拡販が図れるなど好調に推移し、さらに為替変動の影響もあり、前年同期比増収となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、7,523百万円と前年同期比1,104百万円(17.2%)の増収となり、販売費及び一般管理費が増加したものの、営業利益は1,212百万円と前年同期比324百万円(36.6%)の増益となりました。

(ネイル関連事業)

国内では、アクリル材料が回復基調にあり売상을伸ばしましたが、一般消費者向けジェルネイルが他社の攻勢により低調に推移し、国内全体では前年同期比減収となりました。海外では、米国において急激なインフレの影響による消費の落ち込みがみられましたが、為替変動の影響により前年同期比増収となりました。また、台湾では感染症の急拡大の影響から脱却しつつあり、前年同期比増収となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、552百万円と前年同期比24百万円(4.6%)の増収となりましたが、販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は13百万円と前年同期比23百万円(64.2%)の減益となりました。

(その他の事業)

当社グループの株式会社松風プロダクツ京都において、歯科用研磨材の生産技術を応用し、工業用研磨材を製造販売しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は、21百万円と前年同期比2百万円(8.9%)の減収となりましたが、営業利益は2百万円と前年同期比2百万円(672.3%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,355百万円増加し、42,065百万円となりました。現金及び預金や、受取手形及び売掛金、有形固定資産の増加が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ91百万円増加し、7,860百万円となりました。未払費用などの流動負債の増加が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,264百万円増加し、34,204百万円となりました。利益剰余金や為替換算調整勘定の増加が主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.4ポイント上昇し、80.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年8月1日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,064	9,367
受取手形及び売掛金	3,294	3,608
商品及び製品	5,303	5,369
仕掛品	1,126	1,276
原材料及び貯蔵品	1,125	1,192
その他	555	540
貸倒引当金	△6	△13
流動資産合計	20,462	21,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,837	10,030
減価償却累計額	△5,930	△6,053
建物及び構築物(純額)	3,907	3,977
その他	11,742	12,393
減価償却累計額	△7,219	△7,399
その他(純額)	4,522	4,993
有形固定資産合計	8,429	8,971
無形固定資産	427	449
投資その他の資産		
投資有価証券	9,626	9,384
退職給付に係る資産	1,220	1,219
その他	550	704
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	11,390	11,301
固定資産合計	20,247	20,722
資産合計	40,709	42,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	928	882
1年内返済予定の長期借入金	325	325
未払法人税等	656	684
役員賞与引当金	50	12
その他	2,476	2,634
流動負債合計	4,437	4,538
固定負債		
長期借入金	1,153	1,095
退職給付に係る負債	235	242
その他	1,943	1,983
固定負債合計	3,332	3,321
負債合計	7,769	7,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,968	5,968
資本剰余金	6,123	6,122
利益剰余金	16,001	16,683
自己株式	△115	△97
株主資本合計	27,978	28,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,426	3,356
為替換算調整勘定	713	1,393
退職給付に係る調整累計額	641	620
その他の包括利益累計額合計	4,781	5,370
新株予約権	116	99
非支配株主持分	64	57
純資産合計	32,940	34,204
負債純資産合計	40,709	42,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	6,970	8,097
売上原価	3,089	3,396
売上総利益	3,881	4,700
販売費及び一般管理費	2,952	3,470
営業利益	929	1,229
営業外収益		
受取利息	3	9
受取配当金	48	79
会費収入	30	26
為替差益	30	291
その他	59	51
営業外収益合計	172	457
営業外費用		
支払利息	2	1
当社主催会費用	53	39
持分法による投資損失	25	10
その他	14	9
営業外費用合計	95	60
経常利益	1,006	1,627
特別利益		
投資有価証券売却益	-	38
特別利益合計	-	38
特別損失		
固定資産除却損	40	-
特別損失合計	40	-
税金等調整前四半期純利益	965	1,665
法人税等	330	514
四半期純利益	634	1,150
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	630	1,144

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	634	1,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△70
為替換算調整勘定	188	684
退職給付に係る調整額	△18	△20
その他の包括利益合計	130	593
四半期包括利益	765	1,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	760	1,733
非支配株主に係る四半期包括利益	5	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,419	528	23	6,970	—	6,970
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	1	1	△1	—
計	6,419	528	25	6,972	△1	6,970
セグメント利益	887	36	0	924	4	929

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	
日本	3,086	345	23	3,455
北米・中南米	793	70	—	863
欧州	1,587	—	—	1,587
アジア	951	112	—	1,064
顧客との契約から生じる収益	6,419	528	23	6,970
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,419	528	23	6,970

(注) 外部顧客への売上高は、当社及び連結子会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,523	552	21	8,097	—	8,097
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	1	1	△1	—
計	7,523	552	22	8,098	△1	8,097
セグメント利益	1,212	13	2	1,228	1	1,229

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	
日本	3,528	315	21	3,865
北米・中南米	968	75	—	1,044
欧州	1,600	—	—	1,600
アジア	1,425	160	—	1,586
顧客との契約から生じる収益	7,523	552	21	8,097
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,523	552	21	8,097

(注) 外部顧客への売上高は、当社及び連結子会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。